第3回 大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会 議事概要

開催日時	令和3年12月3日(金)18時30分～20時00分
開催場所	子育て支援・世代間交流センター(UPっぴ)2階会議室
出席者	今西委員、地下委員、針田委員、西脇委員、荒木委員、藤井委員、山村委員、菊屋委員、酢谷委員、大西委員、横山委員、中辻委員、中川委員、寺田委員、寺下委員
欠席者	1名
事務局	教育部長、こども政策部長、教育部理事、こども政策部次長、教育総務G課長、学校教育G課長、教育総務G参事、保育・教育G主幹、教育総務G主査、(株)パスコ
傍聴者	0名
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 他市公立幼稚園との比較について 3. 市立幼稚園の再編・統合について 4. 意見書(案)について 5. その他 6. 閉会
資料	<p>資料1 他市公立幼稚園との比較</p> <p>資料2 市立幼稚園の再編・統合の考え方</p> <p>資料3 大阪狭山市立幼稚園及び狭山中学校区の小中学校への対応について(意見)(案)</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事 務 局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、ご多忙のところ、また12月に入り寒さも厳しくなり、そのうえ夜分にもかかわらず、ご出席いただき感謝申し上げます。 ・ただいまから第3回大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会を開催する。 ・本日は、委員総数16名中15名、2分の1以上の出席をいただいていることから、大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会設置規則第6条第2項の規定により、この委員会が成立していることをご報告申し上げます。 ・なお、本日の傍聴者はいない。 ・本日の会議は90分をめぐりすべての議事を終了したい。ご協力をお願いします。 ・配布資料確認 ・以降の議事進行については委員長をお願いします。
委 員 長	<p>2 他市公立幼稚園との比較について</p> <p>3 市立幼稚園の再編・統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の継続事項として次第の2と3について事務局より説明をお願いします。
事 務 局 委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・前回の意見も踏まえ次第2と3の案件について説明いただいた。 ・ご意見を頂戴したい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・お願いした富田林の事例について調べていただきお礼を申し上げます。 ・先日、実際に富田林の幼稚園現場に行き、先生方の声を聞いてきたが、本市よりも統廃合が急がれる状況にある。 ・前市長の時に10園を4園にすると議会で決まったが、現在の吉村市長になりゼロベースに戻すということで対策を講じている。 ・合同保育を行っているのは2園だけで、毎日、登園してきた園児を連れていっているが、園児たちは喜んで生き生きとしている。 ・A幼稚園は、4歳児1名、5歳児1名しかいない。園児数減少への対策として幼稚園に給食を導入し、B幼稚園では近くのC小学校に幼稚園の先生が園児40～50人分の給食を取りにいき、園で給食を終えた後はまた持っていき、というようになりかなり苦勞をされているようである。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合なり新しい方向に取り組むときに、幼稚園としてなのか、こども園としてなのか。こども園であれば0～2歳児の施設が必要であったり、通園方法や保育時間の問題もある。保育時間は検討するとしても、通園バスを使うのであれば、近い方に行こうとならないか。交通網が増えて

事務局	<p>きたことで、逆に公立希望者が増えるといったことにならないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美原区が何年か前に統合を実施し、既に何年か送迎バスも運行している。園児の動きは以前と以降とはどう変わっているのか。増えているのか。 ・現在の美原区については1園になることで、区全域から通ってもらうために通園バスが運用されている。 ・全体的な傾向として、本市と同じく保育ニーズが増えてきており、バスを導入したからといって幼稚園の園児数は増えているというわけではないと考える。 ・来年度の入園予定者についても、今年度は3歳児が44名、来年度は40名と微減という状況にあり、一定、園児数減の歯止めにはなっているようであるが、右肩上がりには増えていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・理解した。 ・通園にバスを導入してもそれほど増えていないのであれば、最終的には、公立に行きたいという選択肢の問題にもなってくる。公立に行きたいという市民の選択肢を増やすという意味も含まれているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本市だけではなく、幼稚園と保育所の機能を併せ持っている認定こども園が全国的に広く認知されており、中心的な施設になりつつある。 ・ただ、保護者のニーズ、時代の要請として、教育・保育体制を進めていく部分で、それぞれの家庭や子育ての状況に応じて保護者が施設を選べるという観点から、当分の間は保育所と認定こども園、幼稚園、それぞれが地域の中にある方がよいと考えている。 ・また、公立志向、私立志向があるかもしれないが、幼稚園教育を望む保護者が一定数いる。 ・また、私立幼稚園では受け入れが難しい支援が必要な子どもの受け入れなど、セーフティネットの役割も公立幼稚園にはあると考えているので、公立の幼稚園は残していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園として残していきたいと考えているということだが、資料2のスケジュール(案)をみると、東幼稚園が統合後に新幼稚園として運用を開始するか、こども園に全面的に移転するかで、半田と東野はそれぞれ廃園と書かれている。これは決まっていることなのか。他の地域では、こども園になるときは私立になると書かれている。その辺りのことをしっかりお聞きしたい。 ・忙しくなっている生活の中で、給食や送迎バスなどを改善することで公立への入園者も増えるのではないか。 ・一方で、すでに市立こども園が西山台に1園あるが、そこを充実させる、そんな話もここでできるのかと思っていた。 ・東幼稚園が統廃合で認定こども園になるのであれば、既存の西山台にある市立こども園との関係はどうなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の園を活用する中で、公立園として運営することを前提に幼稚園の

<p>委員長 委員</p>	<p>存続をスケジュール化したものを（案）としてお配りしており、東幼稚園が認定こども園になるということではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立こども園の充実については、引き続き令和 4 年度の検討委員会で充実策についてご意見を頂戴できればと考えている。 ・こども園 1 園、幼稚園 1 園を公立で運営していくというイメージで、再編・統合として今年度は幼稚園についてご議論をいただきたい。 ・西山台のこども園の件はよろしいか。 ・令和 4 年度にこども園に関して全体的に考えていくという答えをいただいた。 ・各幼稚園で少しでも多くの園児に来てもらえるよう努力をしていると思うが、給食については何とかならないのか。隣の小学校まで先生が取りにいかなくても、保護者のニーズに合った対応ができれば、これ以上は減らないのではないか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園については平成 29 年度から 3 年保育を実施しており、預かり保育についても通常の保育期間中だけ実施していたが、現在は通年実施にしている。また、2 歳児を対象とした未就園児事業など、園児獲得に向けた取り組みを進めてきたところである。 ・ご指摘の給食やバスについても検証を続けてきたが、諸課題があり実現していない状況である。 ・今後、幼稚園を存続していくにあたり、ご指摘いただいたところも含めて充実させていきたい。現在 3 園で同時に給食やバス送迎を実施するのは難しい面も多いが、今後そういった取り組みができればと考えている。
<p>委員長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題として、委員から預かり保育と給食、交通の便について意見があった。 ・こういった課題も含め、検討しなければならないことがたくさんあるがそれも含めてご意見をお願いしたい。 ・今のご質問に対しての答えにもあったように、行政としての考え方が見えてきたような気がする。 ・市民だけでは情報収集はできないし、行政、学識経験者、現場の人から情報を得て、この会でわれわれが検討を加えていくわけである。 ・否定的な意味ではなく、市民が内容を理解し賛同していただくというアライブづくり的な部分があるが、これは見方や言葉を変えると、行政なり現場の方々の長年の経験と実務が蓄積され、理想とされる方向性と他市の事例を含む、必要かつ十分な情報のもとに導き出されたものであると思っている。 ・その方針を広く市民に認知してもらい賛同を得る作業だと思っている。良い悪いではなく、そこは大事だと思っている。 ・今回いただいた資料は、文言だけではなく数字で裏づけされたものであると思うので、その方向で意見を出させていただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園のことは、来年検討としながら、実は今から同時並行して検討していかなければならない。 ・バスについては後ほど検討すると読み取れた。私自身リスクマネジメントの仕事をしているが、バスは10年たっても100年たっても1件の事故も起こしてはならない。死亡やケガだけでなく、園児の車酔い、密室に入ることの恐怖、ドライバーの資質など、継続的に管理していかなければならない。 ・当然、予算も長期的に見ていかなければならない。将来どこまでの予算を検討されているのか。出口はどこにあるのか。行政の中では検討されていると思うが、そういうことも含めて進めておられるということでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行については安全が重要だと認識しているが、ご指摘のあった業者やバスのルート、安全に運営できるかといったところまでは現時点では考えていない。ここで議論を進め、そういったものを取り入れていく、そういう考え方でお示ししている段階。具体的なところまでは考えていないのが正直なところである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では当然だと思うが、事故が起これば10年前、20年前にさかのぼり、この検討委員会で統合についてもっと詳しく検討されていれば事故は起こらなかったということもありうる。 ・行政が毎日チェックをし、行政の職員が運転するわけではなく、必ず外注になる。外注は時間がたつほどリスク管理ができなくなり、結果的に事故が起こってから、ずさんな管理体制だったということが判明する。そういうことが全国各地で起こっている。それがないように深く検討していかなければならない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林市では、数年前にあり方検討委員会をつくり、6回の審議を経て基本方針を策定したが、パブリックコメントに出す前に住民から18,600件の反対署名があり、パブリックコメントでは1,269通の反対意見があり、結局は廃案になってしまった。 ・地域に昔からある幼稚園なので、存続を希望するのは当たり前の意見で、それを廃園にして統合するのは難しい面がある。 ・特に東野幼稚園は大阪狭山市の指定避難所になっており、廃園になれば市民の避難場所がなくなる。 ・どのように乗り越えていくのか。慎重に進めていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルがたくさんあるので慎重に乗り越えていかなければならないという意見をいただいた。 ・私は東野幼稚園ができた当時に入園したので、自分の子どもも公立に通わせたい。 ・やはり自分の生活範囲に幼稚園があると便利である。東幼稚園にしてもUPっぴ等の市の施設にしても、市の中心にあって、東野方面には何も

事務局	<p>ない。子どもが小さいときにもUPっぷはあったが、ここに来たのは1回か2回しかなく、近くの子育て支援の青空広場や公民館での子ども支援など、近くに行くことが多い。小さい子どもを連れてここまで来るのは億劫。生活範囲の中に公立幼稚園があれば生活がしやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食は皆さん望んでいる。3園がある時点で給食を始めてもらえれば何年か後には増えると思う。 ・取り組みは進めてきたが、子どもの数自体が横ばいか減少で、少し前は微増傾向にあったが、トータルでは保育ニーズが高まって、幼稚園を希望される人数が減少している。 ・そういう状況が続いており、将来的に増えるという裏づけも難しいというのが正直なところである。 ・本来、増加傾向にあればこういう問題にはならなかった。全国的な傾向かもしれないが、非常に厳しい状況が続いている中で、今回こういった形で議論に乗せさせていただいたという状況である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの話や教育委員会の話をお聞きして、私としては統合が必要だと思っている。 ・維持していくにはコストがかかる。それに加えて給食となればそれなりのコストがかかってくる。 ・一方、そのサービスを受ける側の園児がたくさんいるのであればコストをかける意味もあるが、現状はそうではない。 ・古い施設を維持するためにコストをかけ続けるのか。誰がそのお金を負担するかと考えたときに、結局は市民に返ってくることになる。 ・公立のニーズに重きを置いて1園にする、その代わりに、市民サービスとして市全体の子どもたちが公立に通うためにはバスは必須ではないか。 ・公共の避難所たる施設は、狭山中・東小・東幼稚園に集中しており、東野は手薄になっている。 ・単に広さで東幼稚園が当てはまるから東でよいのか。そこにバスがどう入っていくのか。ただでさえ莫大な児童・生徒が通っている狭山中・東小に園児のバスまで入ってくる。雨の日は車も並ぶ東小のところに、さらに園児を乗せたバスが来る。面積的には東でよいのかもしれないが、広さだけでよいのか。 ・統合するのであれば、逆に東野には施設がないのでそこに建てるとか、そういったことは考えられないのか。お金がないのであれば、市民に納得してもらって狭山中・東小・東幼稚園のところに集める、それしかないという説明せざるを得ない。 ・統廃合するのなら、避難所のことも踏まえて考えるべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の問題、バスが入ることによる危険については、事務局も理解していると思うが、そこはどうか。 ・バスというとマイクロバスをイメージされると思うが、幼稚園バスとし

<p>委員長</p>	<p>てはワンボックスカー的な大きさで、中を改造した車両で、決して大きなバスだけをイメージしているわけではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行コースなど、具体的なことは考えていないのが実情であるが、もしバスを運行させることになれば、道路事情等も考えながらバスの運行については計画していきたいと現時点では考えている。 ・避難所についてだが、東野幼稚園の地域は公共施設が少ないこともあるので、廃園後の園舎の活用として、具体的には決まっていないが、保育施設に限定せずに公共施設全体という考え方の中で、避難所の機能も含めて考えていくことが課題になる。 ・大事な課題である。 ・委員から統合との意見が出た。これに対して違う意見もあるかもしれない。もう一つは公立として残すかどうかという問題。これも大きな柱と思う。これに集中してご意見をいただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの子どもは私立の幼稚園に1年だけ通わせ、4歳からは地元の半田幼稚園にお世話になった。 ・なぜ地元の公立幼稚園を選んで通わせたのかというと、地元の幼稚園は、小学校入学を見据えたときに、年間行事を通しての交流もあり、子どもの育ちの環境を考えて最適だと思ったから公立を選択した。 ・統廃合という話になって東に集中するかもしれない。いざそうなったときに、中核から外れている遠い地域の住民は、地元の小学校と離れているので交流ができるのかどうか。 ・現在、東幼稚園と東小学校で交流があるのかどうか。あったとして、それを地域の交流として大事に育てていけるのか。 ・子どもたちは、この幼稚園に通って、この小学校に通って、この中学校に通う、という未来が見えると安心する。そういう環境にしていけるかどうか重要ではないか。 ・離れている小学校の地域の人たちは地元の小学校との交流が保てるのかどうか気になるのではないか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は小学校に隣接して幼稚園があり、各園で連携はできていた。現状の3園についても隣接する小学校との交流はある。 ・今後1園になった場合に、それぞれの地域の子どもが通う地元の小学校との交流ができるか、少なくとも公立幼稚園として小学校との交流は続けていくことに変わりはないと考えているが、7校とできるかどうか、今後はそういう取り組みも必要と考えながら進めていきたい。小学校との連携は大事にしていきたいと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事にしていきたい。小学校に行かれるのなら他の地域も同じようにしてほしい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以前にいただいた資料で、「適正規模・適正配置に関する基本方針」の中での課題分析として、市立幼稚園、認定こども園、民間施設の選択につ

<p>委員 長</p>	<p>いて、市立こども園も定数割れしていることが書かれている。資料では226名の定員に実際は163名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでも残す必要があるということであれば、公立でしかできないこととは何かを明示すべきである。漠然と公立にしかできないことをやるというでは市民は納得できないのではないか。 ・公立のこども園1園と幼稚園1園で役割を果たしていく、その中身をもう少しははっきりさせる必要がある。 ・事務局から補足説明があればお願いしたい。
<p>事務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携も含め、公立としての役割を明確にしながら公立幼稚園・公立認定こども園を運営していきたい。 ・今後は今以上に取り組みを強化し継続していく。わかりやすく、明らかにしていきたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流の件で気になった。東小校区で東幼稚園・東小学校に行ったので、交流は盛んに行われているのは知っている。 ・東幼稚園から北小学校に進学する子もいるが、北小学校との交流は、あるのか。1小学校・1園の頃はともかく、現在の7小学校・3園でも交流がない中で、7小学校・1園になったときに、今できていないことができるのか。前向きに検討するというのは、裏返しとしてできるかどうかわからないということでもある。 ・そこが大事なので、深く検討していただくとともに、実現可能性の高い検討をしていただきたい。 ・バスのことで質問があったが、美原区ではスーパービバホームやららぼーとができるが、道路が追いついておらず、渋滞が発生している。 ・そういうことが1園になったときに起こるのではないか。運動場も含めて、当然、地元の地権者、権利関係にかかわってくる。スケジューリングで来年か再来年と書かれていても、地権者の同意を得られるのか。 ・バスは横幅2.5m~3m弱、ワンボックスは2m。2mであっても2.5mであっても、行き違いができなければ同じで、小さいからといってメリットにはならない。よく検討していただきたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林市のある幼稚園では、地域で約600通の存続を求める署名があり、地域で盛り上げていく、地域が責任を持つといていたにもかかわらず、4年後には園児が1名になってしまった。 ・ある意味で地域は無責任な側面もあるので、よく見極めて、存続するかどうかを検討していただきたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東幼稚園が認定こども園に移行する際には用地を確保して私立という案が出ている。 ・西山台にある市立こども園は、3・4・5歳児園舎、0・1・2歳児園舎があり、真ん中に南第三小学校が入っている。実際、日々の交流は難しいのではないかと考えている。

委員	<p>認定こども園に移行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2園とも、弾力化した形で定員を上回る園児を受け入れてくれており、それぞれ転用した結果、多くの子どもが利用している施設として運営してくれている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・園を変えたことのメリットが現れている。一つの実態として生じているわけだから、それも踏まえて、これからの施設のあり方について検証していく、考えていくことが必要ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今、委員が言われたように、令和4年度から統合に向けて幼稚園1園を提案してはどうか。問題点が多く出ているのも事実であるので、それらも検討しながら進めていくという方向でどうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも統廃合をしていくという方向か。 ・問題点や不明確な点もあるので、大きくは、公立幼稚園1園という方向で進めたいと思うがどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の段階でどこまで賛同するか、あるいは引き止めるか、迷っている。 ・今日の検討を踏まえて意見書の素案が出てくるのか。そうであれば、この文章だけを見ると、この文章が独り歩きをしたときに、ここに列記されている委員が意見をまとめたと見た人には映る。 ・我々は、行政や学識経験者との情報交換、あるいは意見交換をもとに作成しているので、ここにはこの部屋の中の方が列記されるべきではないか。委員長を含む学識経験者・市民委員プラス行政の担当者が入っていることが文面に現れなければ、純粹に市民だけの意見ということになってしまわないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう恐れを感じているとの意見である。 ・委員が言われたのは、市民委員だけではなく行政の人も入っていることを明記してはどうかというもの。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局がこの会に同席しているのは、あくまでも行政の立場で質問等にお答えするためであり、それを受けて皆さんの意見として、教育委員会にご提言いただきたい、そういう形での意見書である。 ・この会議で決める場にわれわれが同席していたことは議事録に残っているが、意見書の中に並列で名前を残すというのは、意見書の趣旨からするとそぐわないのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この会には、行政、学校関係者、教育委員会の長年の経験や組織と情報量によって導き出されたものを市民感覚とすり合わせる意味もある。 ・膨大な行政の情報をもとに、若干プレッシャーのある中で方針をすり合わせ、われわれの純粹な意見として文書化することに私は抵抗があるが、他の委員の皆さんはどうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で意見書を出すことにはご了承いただいたが、こういう形で出すことには抵抗があるという意見が委員からあった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小中学校のこともあって、濃密な会議かもしれないが、私とし

事務局	<p>てはまだついていけない部分もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと危惧するところもあり、ほかに方法があるかもしれない中で、統廃合ということで教育委員会に出す意見をまとめるのか。 ・10回ほどある会議であるが、これからどういう形ですすめていくのか。 ・市立幼稚園及び学校のあり方については、教育委員会で今後、適正配置・適正規模方針を確定するにあたり、検討委員会で意見をいただくということで開催している。 ・本来であれば来年度に最終的な答申としていただくものではあるが、市立幼稚園の現在の園児数の状況と狭山中学校区の小学校の状況といった緊急性の高い課題があり、来年度予算編成の関係もあることから、その点について重点的に意見交換をし、先行して意見書という形でいただきたいということについて、第2回の検討会で皆さんに了承いただいたと認識している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の資料で、小中学校のあり方について案が示されている。幼稚園の統廃合については、本日の意見をまとめて、次回の第4回の委員会で案が示されて、それを承認する、賛同を得るという形になるのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の考え方と違っていたら訂正いただきたいが、通常であれば、本日の議論をまとめて次回に案を示す形になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目は、会議を開く場合と、文書で意見を出していただいて集約する場合など、いろいろ方法はあると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は幼稚園の課題を説明し、幼稚園について一定の意見集約を行っていただきたいと考えている。その後、それを踏まえて幼稚園と小学校について意見書の中にどういう形で盛り込んでいくかについては、次の議題で説明させていただきたい。 ・なお、次回は1月開催を予定している。今回意見をいただき、次回に開催するまでの間に、メール等でご意見を募集させていただいて会議に臨みたい。 ・その中で最終的に皆さんの意見をまとめて意見書を作成する、そういう流れを予定している。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・急いでいるのは予算のことがあるからだと思われる。 ・そういう形で、今日の意見をまとめて次に出していただくということでよいか。 ・特になければ、時間が押しているので次の議題に移らせていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回の会議で、市立幼稚園と狭山中学校区の学校への早急な対応が求められることから意見書(案)という形で出ている。次第4について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>4 意見書(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・補足になるが、本日小中学校について案として示している内容について

委員長	<p>は、これまで皆さんから頂戴した意見を参考にしながら、こういう形で盛り込んでどうかということで、あくまで参考として載せている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考としての文章だとお考えいただきたい。 ・事務局の説明について意見等はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・さきほどの意見書に委員の名前を列記する件について、折衷案として、この意見書は方針から現状の分析まですべてわれわれが行ったものではないので、「教育委員会及び行政の現状の把握及び将来の展望についての方針を当委員が認識し、賛同している部分もあった」というニュアンスの文章を入れていただきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう意見をいただいたので事務局よろしく願います。 ・ほかに意見はないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園については先ほど議論が終了したところであり、まとめ方については皆さん、まだイメージができていない部分があると思う。 ・この後、あらためて意見等、メールでご案内したい。十分に考えていただく時間を用意している。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日ご発言できなかった部分はメールでお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、第七小学校ができたときの校区決めの経緯について事務局から説明があったが、読み上げだけで資料がなかったので、資料としていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・意見書(案)を見せていただいたが、修正してほしい点がある。 ・「子どもの健やかな成長を促すために十分な広さの運動場の確保に努めること」とあるが、「運動場等」にしてほしい。雨の日は体育館を使う。運動場を確保すれば済むという問題ではない。 ・実際、現在の体育館に全校生徒を集めるととんでもないことになるので、一度も全校生徒を集めたことはない。集めたくても集められない状態が続いている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は学校の教師をしていたので、現場のご苦労はよく理解している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学校区の見直しは安易に行わない」とあるが、第七小学校区の新設で校区を変更したことを考えると可能性としてはなきにしもあらずで、ここまで言い切ってしまうてよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに書いている部分については、あくまでも参考である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これはたたき台で、次の会議までに修正してきちんとしたものにしていく。そういう方向だと理解している。 ・ほかに意見はないか。ないようなので、本日の議題はこれで終了となる。 ・本日の意見と質問への回答も含め、事務局で取りまとめをお願いしたい。 ・それでは、議事進行を事務局にお返すする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆さま、長時間にわたりご議論いただき感謝する。 ・本日、委員の皆さまから意見を頂戴し、今後メール等でもご意見を頂戴する予定である。頂戴した意見については意見書に反映してまいりたい。

事務局	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の委員会の開催日程については 1 月中を予定している。日程についてご連絡させていただくので、ご協力よろしくをお願いしたい。 ・ なお、日程調整及び議事録送付と今後の連絡手段はメールで行うので、メールの確認をよろしくをお願いしたい。後日、事務局担当者よりご案内させていただく。 ・ 委員長からもあったように、意見書に対する意見についてもメールでお受けしているので、ご協力よろしくをお願いしたい。
事務局	<p>6 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日はこれにて散会とする。